

健康、安全で有意義な夏休みを ～1学期終業式 校長式辞～

7月31日（金）、防災訓練で全校生がグラウンドに集合した際に、そのままグラウンドで1学期終業式を簡略化して行いました。

【1学期終業式 学校長式辞から】

1学期を終えて夏休みを迎えるにあたり、3年生の皆さんには、希望の進路を実現するために、「夢」を「信念」に変えてほしいと思います。

「これができたらいいな」「こんなふうになったらいいな」と願うだけでは希望は叶いません。「こうしよう」「自分は絶対にこうなってやろう」という強い気持ちをもって物事に取り組まないと希望は実現しません。

そのためには、立ち止まらずに行動することが大切です。立ち止まって考えているだけでなく、「自分でいろいろやってみる」「先生や家の人に相談する」「友達に話してみる」ことで、夢の実現に向けて一歩前に進みましょう。

2年生の皆さんは、夏休みに1冊でも多く本を読んでください。会社社長、大学教授を経て、現在は立命館アジア太平洋大学の学長をされている出口治明さんは、自分が人生の中で学んだ大切なことは、「人から学んだこと」、「本から学んだこと」、「旅から学んだこと」の3つに大きく分けることができると言っています。

要は、たくさんの人に出会い、たくさんの本を読み、たくさんを経験をすることで、視野が広がり、人生の選択肢が増え、人生が豊かになるということです。夏休みは何か本を読みましょう。

1年生の皆さんは、中学生を卒業して高校生になれているか自己点検をしてください。3月に中学校は卒業しているけど、中学生を卒業できていますか。高校生になって成長したと言えるものが何かありますか。

三木高生として、3年間高校生活を送る自分の姿をイメージしてください。三木高校で自分の好きなこと、熱中できるものを見つけること、そしてそれを一緒にがんばれる仲間・友達を見つけることが1年生の皆さんへの私からの宿題です。

1学期は、三木高校の文化祭である釜城祭もできませんでした。9月に予定していたフランス海外研修もなくなりました。ほかにもなくなったもの、できなかったことがたくさんあります。しかし、無いものをいくら嘆いても何も始まりません。

今あるものを大切に、今できることに全力で取り組みましょう。明日から夏休みが始まります。皆さんにとって「今あるもの」、それは時間です。

健康に気を付けて、安全で有意義な夏休みにしましょう。

（校長 高橋信之）